

第59回社会福祉セミナー

「社会福祉の申請主義を考える『攻めの福祉』の可能性」 講座の主旨・論点

- 福祉のサービスを必要としているにもかかわらず、何かしらの理由で、サービスを受給できていない人々がいる。
- そうした人々に必要な支援を届けるため、従来の「受け身の福祉」「待ちの福祉」から、「打って出る福祉」「攻めの福祉」への転換が求められている。
- しかし、申請主義をめぐる問題を解消するための方策については、十分な議論がされているとはいえない。
- そこで、社会福祉における申請主義をめぐる問題と「攻めの福祉」の可能性について、多様な立場からの問題提起や先駆的な実践事例を基に、学び議論する機会としたい。

基調対談

・雨宮 処 凛（あまみや かりん）氏

- ・作家／活動家／一般社団法人反貧困ネットワーク世話人
- ・北海道生まれ。フリーター等を経て2000年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』（太田出版、2000年）でデビュー。
- ・2006年からは貧困問題に取り組み、『生きさせろ！－難民化する若者たち－』（太田出版、2007年）はJCJ賞（日本ジャーナリスト会議賞）を受賞。
- ・著書『非正規・単身・アラフォー女性－「失われた世代」の絶望と希望－』（光文社新書、2018年）、『この国の不寛容の果てに－相模原事件と私たちの時代－』（編著、大月書店、2019年）、『ロスジェネのすべて－格差、貧困、戦争論－』（編著、あけび書房、2020年）、『相模原事件・裁判傍聴記－「役に立ちたい」と「障害者ヘイト」のあいだ－』（太田出版、2020年）等多数。最新刊は『学校では教えてくれない生活保護』（河出書房新社、2023年）等。

進行

10：40～11：30（50分）	基調対談開始
11：30～11：40（10分）	休憩
11：40～12：00（20分）	基調対談再開
12：00～12：30（30分）	質疑応答